

成果の説明書

(氏名) 水口剛	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) ESG 債券市場の持続的発展に関する研究 2018 年度から始まった「ESG 債券市場の持続的発展に関する研究会」の成果として、2019 年 6 月に『サステナブルファイナンスの時代 – SDGs/ESG と債券市場』(水口剛編、きんざい) を出版した。グリーンボンド・ソーシャルボンドに関わる基本的な論点を網羅した成果となった。</p> <p>(2) 運用機関と NGO による協働プロジェクト 昨年度に引き続き NGO の連合体である CSR レビューフォーラムとある機関投資家(運用機関) との協働プロジェクトに取り組んだ。機関投資家が SG 投資に取り組むにあたり、NGO の知見を活用する先進的な試みである。今年度は従来のパーム油問題に加えて、海洋プラスチック問題もテーマに加えた。</p> <p>(3) グリーンボンドガイドライン改定 環境省が設置したグリーンボンド・グリーンローン等に関する検討会の座長に就任し、グリーンボンドガイドライン 2020 年版(2017 年版からの改定) と、グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020 年版の策定に取り組んだ。検討会での議論に加え、市場関係者からの意見聴取も経て、2020 年 3 月に両ガイドラインを公表することができた。</p> <p>(4) 学会発表 日本証券経済学会第 90 回全国大会(2019 年 5 月 11 日(土)・12 日(日)、神奈川大学にて開催)の初日(5 月 11 日)、午前の部、テーマセッションにて、「欧米の ESG 投資の現状—日本への示唆」と題して発表した。</p> <p>(5) ESG 金融ハイレベルパネルへの参加 2020 年 3 月 10 日に環境省主催の ESG 金融ハイレベルパネルに出席し、日本における ESG 金融の促進について、意見交換した。</p> <p>(6) 講演等 研究成果の対外的な発信、及び地域・社会貢献の観点から、以下の講演等を行った(主なもののみ掲載)。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>2019 年 5 月 9 日、日本経済新聞社主催「日経 SDGs/ESG サミット」にて、2 つのセッションのモデレーターを務めた。</li><li>2019 年 7 月 9 日、日本証券業協会・日本証券経済研究所共催「SDGs と資本市場に関するシンポジウム」にて、「SDGs 推進に向けた資本市場の役割」と題して講演。日経カンファレンスルームにて。</li><li>2020 年 2 月 20 日、サステナブルブランド国際会議 2020 横浜において、ブレイクアウトセッションでパネルディスカッションに参加した。</li><li>2020 年 2 月 21 日、英国王立研究所(チャタムハウス) と大和総研共催カンファレンスでパネルディスカッションに参加した</li></ul>	
<p>2 その他の事項 2019 年度も引き続き、副学長として理事会・教育研究審議会等への参加、ラジオゼ</p>	

ミナールの企画、あすなろの運営支援、同窓会福井支部総会への出席（2019年11月30日）等を行った。また、本学における地域貢献、社会貢献の活動を取りまとめた対外的に発信する『地域・社会貢献白書』の第2号を発行した。2019年12月13日にはタイのメイファールアン大学から3人の研究者を招いて、国際研究会を開催した。

### 3 次年度以降の計画・抱負

2020年度には、ESG投資の中でも「インパクト」の測定及び認識に焦点を当てた研究に取り組む。具体的には、ESG金融ハイレベルパネルの下に「ポジティブインパクトファイナンスタスクフォース」を設置し、座長を務める。また金融庁と社会変革財団（SIIF）が共同開催するインパクトファイナンス勉強会でも座長を務める予定である。さらに、連合総研及びQUICK ESG研究所と協力してESG投資の中の「S」指標の研究に取り組む。